

八屋漁港



種別 / 第 1 種 管理者 / 豊前市 所在地 / 豊前市大字八屋

本港は江戸時代から中津耶馬溪各村の年貢米を山口方面に輸送するための港として利用されていたとの実績があり、宇島港が竣工してからは漁船の占用として国東半島周辺で行われる沖合漁業等の根拠地となっていた。漁業は採介藻漁業、小型底曳網漁業等が行われている。

■ 港 勢

漁業協同組合名	漁業地区人口	組 合 員 数			漁業経営 体 数	漁業従事 者 数
八 屋	1,547	総 数	正 組 合 員	准 組 合 員	56	78
		56	52	4		

● 漁船数

区 分	総隻数	動 力 漁 船						無動力漁船
		総 数	3 t 未 満	3 t ~ 5 t	5 t ~ 10 t	10 t ~ 20 t	20 t 以上	
登 録 漁 船	30	30	26	4	-	-	-	-
利 用 漁 船	30	30	26	4	-	-	-	-

● 漁獲量 (t)

() は漁獲額

	総 漁 獲 量	海 面 漁 業				浅 海 養 殖 業	
地元漁業者 (属 人)	121	73				48	
陸 揚 量 (属 地)	〔 50 百万円 〕 121	底びき網	小型定置網	固定式刺し網	かご	貝類	のり
		36	32	2	3	40	8